

その他の事業のその他における乗用車、バス、バイクを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	15～ 16	取引先との搬送業務を終え、同スクウェア敷地内に駐車しているバイクに乗り、右方向にUターンをして帰社する際、発進時に体のバランスを崩しバイクとともに転倒し受傷した。	64	30～ 49
1	4～5	上り料金所1レーンで、ETCカード有効期限切れ車両の対応中に、その車両が突然急発進し、撥ねられ、左膝打撲・左肘打撲・右手関節捻挫・頭部打撲・上前歯一本脱臼を負った。	66	100 ～ 299
1	16～ 17	ホールカップ切り作業をするため、クラウンカントリークラブ内の通路を50ccバイクに乗り移動中、ハンドル操作を誤り転倒し、左膝を強打し骨折した。	64	—
1	16～ 17	便所清掃のためオートバイで移動中、信号を左折した時に水たまりで転倒して負傷し、腫れがひどくなった。	45	10～ 29
1	10～ 11	交差点を右折しかけた際、北から直進してきたトラック（対向車）とぶつかり、首・右肩・腰・両下腿を負傷した。	33	1～9
2	11～12	交差点において契約者様のお宅に伺う際、交差点で右折をしようとしたところ前方不注意等により電柱に衝突した。首を損傷（むち打ち）した。	33	—
2	1～2	仕事で社有車で移動中、急にスリップし急カーブし、ハンドルを戻そうとしたが運転操作不能になり、何度も車両が横転し逆さまに停止した。	45	10～ 29
2	17～18	早出したため夕方に退社し会社の駐車場から通勤に使用している自身のオートバイを押している時によろけて倒れた。	67	10～ 29
2	8～9	駐車場にバイクを停車させる際に、ブレーキをかけ、完全に停車後そのまま左側に転倒した。バイクの下敷きになってしまった。	63	10～ 29
		運転代行業務中に、お客様の車で交差点を南側より北進で青信号で進んでいたと		

2	22~23	ころ、西側寄り赤信号で無視してきた車に左側面を衝突され、その勢いで真横に4回転半して当社のアルバイトが負傷した。多分100対0で相手が悪いです。	41	30~ 49
2	21~22	作業場所から自宅へ帰宅中に、交差点上で、青信号で右折レーンに入り一時停止をし、直進車が来ていないことを確認してから交差点に進入し、歩行者を渡らせるため横断歩道手前まで進入し停車したところ、直進車が来て衝突した。その衝撃で頭を打って気を失い、救急搬送された。	33	100 ~ 299
2	19~20	当日夜間、団地内道路の十字路交差点付近にて、右折して来た車に、左端に逃げつつ、後方にも下がったが、全く気が付いていなかった運転手により正面当たりされ後方に1回転しながら飛ばされた。	53	30~ 49
2	14~15	朝、定期調査を持参し現場へ単車で出発した。午後、定期調査を終え、支所へ帰所するため直進中、左店舗駐車場出口で一旦停止している相手車を確認した。そのまま直進したところ、相手車が急に右折のため発進した。右側へよけたが、相手車の前面と単車左側が接触し、転倒し受傷した。その後、救急車で医療機関へ搬送された。	54	—
2	11~12	昼交代の為、バイク移動中、交差点にて当方が青信号で直進し右折して来た軽自動車と衝突した。顔面を強打し、救急車で搬送される。	33	50~ 99
2	11~12	事業所入口の前で荷物を車から降ろしていたところ、風で車のスライド式ドアが勝手に閉まり右手第5指を挟んでしまった。	61	1~9
3	15~16	被災者は、作業現場へ向かうため走行中に、交差点で相手車両と衝突し、右鎖骨骨折および肋骨骨折を負った。	29	1~9
3	22~23	電気事故対応後、協会に戻るため走行中、交差点の信号が赤に変わったため停車したところ、後方から車両が追突した。	45	30~ 49
3	18~19	業務中、車に乗り込む際に運転席のドアを開けて自動車のステップに右足をかけたところ、滑ってしまい、ハンドルに首筋付近を打ちつけ、そのまま転び、腰部を道路に打ちつけた。	56	300 ~ 499
3	14~15	事務所駐車場で帰宅するため、自家用車の右後部座席に左手で荷物を載せた。そのあと右手で扉を閉めた時、左手が車両ボデーから離れておらず、左手薬指を扉	60	1~9

		で挟んだ。		
3	15~16	巡回業務のためバイクで南へ向け走行中、渋滞で車が列となっている左側を前進していたところ、南から来たタクシーが渋滞でとまっている車の間をぬけて、路地へ向け右折したため、進路を妨げられてタクシーの横へ衝突して転倒し、鎖骨骨折と肋骨骨折を負った。	33	10~ 29
3	15~16	駐車場に於いてマイクロバスから降りる際、左手で取っ手を握り前向きに飛び降りたところ、取っ手から左手を離すのが遅れ、左手だけバンザイをする格好となり負傷した。	64	—
3	14~15	バイクにて営業地域を集金業務をしていたところ、狭い道で対向車を避けるため路肩の空いているスペースにバイクを移動し、対向車をさけて再度出発しようとしたとき、路肩にあったアルミの板に前輪が段差にとられ滑り、肩から横に転倒した。	64	30~ 49
3	11~12	水道施設点検の研修中、ポンプ所へ通じる坂道において小雨の中3台の車で通行中、2台の車は坂道の途中で停車し、1台は坂道上に停車していたが坂道上の車が動き出し、坂道をすべるようによりてきて、前の車に衝突した。その弾みで3代目の車に足を挟まれ負傷した。なお、全員車外に出ていた。	68	1~9
4	14~15	新入社員研修で自社内の施設を見学するため、バスで置賜内を回っており、見学したあと他の施設を見るために移動中、相手方車がセンターラインを越えてきてバスと衝突した。その際の衝撃と急ブレーキの勢い等により、バス車内に体等がぶつかった。	22	100 ~ 299
4	14~15	新入社員研修で自社内の施設を見学するため、バスで置賜内を回っており、見学したあと他の施設を見るために移動中、相手方車がセンターラインを越えてきてバスと衝突した。その際の衝撃と急ブレーキの勢い等により、バス車内に体等がぶつかった。	22	100 ~ 299
4	14~15	新入社員研修で自社内の施設を見学するため、バスで置賜内を回っており、見学したあと他の施設を見るために移動中、相手方車がセンターラインを越えてきてバスと衝突した。その際の衝撃と急ブレーキの勢い等により、バス車内に体等がぶつかった。	18	100 ~ 299

4	14～ 15	新入社員研修で自社内の施設を見学するため、バスで置賜内を回っており、見学したあと他の施設を見るために移動中、相手方車がセンターラインを越えてきてバスと衝突した。その際の衝撃と急ブレーキの勢い等により、バス車内に体等がぶつかった。	19	100 ～ 299
4	16～ 17	運転免許試験場での二輪教習が終了し、安全協会自動車練習場の車庫内において中型二輪車を片付けようと所定の位置に持って行ったところ、二輪車の前輪が車庫内に保管してあるパイロンに接触し、ハンドルを取られて車体が左に傾いたため、それを支えようとしたところ右足首を捻った（ゆるく折り曲がった）。	43	100 ～ 299
5	15～ 16	事業所へ帰社中に、交差点で赤信号で進入してきた普通乗用車に接触され転倒した。	62	10～ 29
5	10～ 11	走行中に前車が停止したため停止中、後車により追突され、反動により前車に追突した。助手席側後部座席に乗車しており、突然の追突による衝撃で負傷した。	24	1～9
5	10～ 11	走行中に前車が停止したため停止中、後車により追突され、反動により前車に追突した。助手席側後部座席に乗車しており、突然の追突による衝撃で負傷した。	41	1～9
6	14～ 15	工場内にて自動車清掃を行っていた。リアタイヤの上に乗る、車の屋根を清掃していたところ、雨のためタイヤが滑りやすくなっており、滑落してしまった。痛みはあったが、そのまま最後まで勤務したが、痛みがひかなかった。	34	10～ 29
6	12～ 13	業務中、交差点内にてバイクで右折待ち停止中、後方より乗用車が追突してきた。当方は、バイクごと押し出され転倒した。後方部からの追突につき、骨盤周囲を打撲し、転倒時に左側肘・膝を強打し、並びに擦り傷にて負傷した。	48	50～ 99
6	15～ 16	県道で対向車が中央線を越え、運転手側のドアに衝突してきた。相手は救護もせず逃走して行った。運転手と助手席者は、ガラスの破片が目に入り、身動きがとれず、病院に救急車で搬送された。	61	50～ 99
6	15～ 16	県道で対向車が中央線を越え、運転手側のドアに衝突してきた。相手は救護もせず逃走して行った。運転手と助手席者は、ガラスの破片が目に入り、身動きがとれず、病院に救急車で搬送された。	59	50～ 99
		一般道路上でパンクスペアタイヤ交換作業を終え、路上に設置していた三角停止		

6	21～ 22	板を自車の後方ドアを開け収納中に、後方より走行して来た相手車両が自車右後部に追突し、自車の車体とドアに右下腿部を挟まれた。	29	10～ 29
6	1～2	指定顧客訪問のため、路面電車が走る道路を青信号で進入した際、路面電車が走る道路を走行する4輪が右側から赤信号で走行してきたため、衝突した。（当方原付、先方4輪）	49	10～ 29
6	16～ 17	レンタカー回送中、被災地の交差点にて、赤信号に変わったため減速し停止しようとしたが、ブレーキの踏みがあまく、信号待ち停車中の車両に追突した。	22	1～9
6	12～ 13	当社取引会社の施工現場へ、発注を受けた資材の納品作業に出向き（実際には門が閉まっており納品出来なかった）、そこから帰社途中に被災した。被災者は運転中、前方の信号に気を取られ、中央線を跨いでしまったため慌ててハンドルを左に切った。その際、左側面の縁石を乗り越えて、トラックが歩道にて停車し負傷した。	29	10～ 29
6	10～ 11	仕事の打ち合わせの帰り道で、軽自動車に同僚を乗せ運転中、車の前にトラックが割り込んで来たため避けようと、急ブレーキを掛けたがハンドル操作が出来ず、壁等にぶつかり負傷した。	22	10～ 29
6	10～ 11	仕事の打ち合わせの帰り道、同僚の運転する軽自動車に同乗中、トラックが車の前に割り込んで来たため、同僚が急ブレーキを掛けたがハンドル操作出来ず、壁等にぶつかり負傷した。	20	10～ 29
6	1～2	代行の工作中、館前でハザードをつけて停車中、相手の車が後方より追突してきて横転し、左足打撲、頸椎捻挫をした。	30	1～9
7	14～15	待機していた当該運転員が発進する際、突然、立ちくらみの症状を発症し、ふらっとなり、意識がもうろうとなって走行し、車止めを倒し、堤防を下り、樹木にぶつかり止まった。その際、腰を負傷したものである。なお、同乗者はいなかった。	75	300 ～ 499
7	17～18	公用車にて出張先から事務所への移動において、車道走行中に、走行車線の左側民家の路肩側に衝突した衝撃で負傷したもの。	57	30～ 49
		交差点の手前で一時停止をして交差点に進入しようとしたところ、左から来た車		

7	8~9	と車両の左側面が接触した。その後、勢いで左前方の壁に車両前方右側が激突した。	26	10~ 29
7	14~15	被災労働者がメーター閉開栓業務のため、バイクで西進中、交差点へ進入する際に一旦停止を見落とし、及び前方、左右確認を怠り進入したため、北側から南進していた自動車に気付かず、左ドア付近に追突、転倒し、右胸部付近を負傷したものである。	64	—
7	11~12	灯油の配達を終えて支店へ戻る途中に、左方の脇道から飛び出して来た軽乗用車と衝突し田んぼに転落し、横転した。優先道路を直進中に、左方の脇道から相手車が一時停止せずに直進してきたため、衝突した相手は急いでいたようで前方不注意でもあり被災者運転の車に気がつかなかったと話している。	55	10~ 29
7	23~ 24	業務中、会社へ戻る途中に二輪車で信号のある交差点を直進していたとき、対向車両（左折）と衝突した交通事故である（双方ともに信号は青）。	29	50~ 99
7	11~ 12	バイクで右折するため（信号無し）、対向車が通過するまで一時停止をし、右折しようとした際に、後ろから直進してきた自家用車に追突された。追突の衝撃で、その場で道路に尻もちをついた格好になり、尻部分を強打した。	52	50~ 99
7	8~9	信号で止まっていたところ、後方より追突された。	60	1~9
7	3~4	外回り片側2車線の第2通行帯を走行中、単独事故で停車中の乗用車を発見し、事故車を避けるため、急減速しながら第1通行帯の安全を確認して車線変更したところ、追突された。	38	30~ 49
7	15~ 16	現場検査を終えて事務所へ戻るため車で走行中、前方不注意により、停車中のトラックに追突した。追突した際の衝撃で、ハンドルに胸部を強打し、打撲した。	65	1~9
7	10~ 11	翌月実施予定の定期調査業務について、マンション管理人へ説明するためバイクで訪問する際、マンション入口を左折しようとしたところ、雨で濡れていた路面で後輪がスリップし転倒し、右足膝と左手親指を打撲した。	54	100 ~ 299
7	11~ 12	青信号で交差点に進入したところ、右から信号無視の車両が進んで来て、当方車両の右前輪付近および前部バンパーに接触したとき、車内で体を打った。	44	10~ 29
		塗面保護シート貼付作業場にて、ライン上を流れてくる商品車両の中にあるス		

7	22～ 23	ベックシートを取り出す作業中、助手席のドアを右手で開け、左手でスベックシートを取り出し、右手でドアを閉めるとき、慌ててドアを閉めたため、左手の親指をボディとドアの間に挟み、左手親指を受傷した。本来は、ドアを右手で開け、左手でスベックシートを取り出し、そのまま左手を腰にあててから、右手でドアを閉める手順で行うことになっている。	46	50～ 99
7	16～ 17	訪問看護先から次の訪問看護先へ向かって中央分離帯側を走行中、渋滞で停まっている車に追突した。	44	1～9
9	22～ 23	住宅街路上にて、エンジン不始動のお客様の車両を弊社トラックへ積み込む為、作業可能な場所まで手押しでの移動が必要となる、移動の際に地面の傾斜により無理な力が加わり、突然腰部に激痛が走り動けなくなった。	34	10～ 29
9	3～4	早朝新聞配達途中、通常は路上にない大きな石があり、当時雨が降っていて暗い時間帯でもあり、バイクで乗り上げ転倒、右肩を骨折。	65	10～ 29
9	13～ 14	降口の信号で停車中、自車両の後方を走行していた相手車両に追突され、自車両の前方に停車していた大型トラックに追突した、この事故により頭部打撲、胸骨骨折、頸部捻挫等の負傷を負ったものである。	47	1～9
9	15～ 16	車両同士の接触事故で、2名乗車中、営業訪問の為、居宅等へ向かう途中、車両を一時停止（民家の壁で見通しが悪いため）し、交差点内に徐行運転で進入するが、相手側車両のフロント部分が接触する、道路の状況から相手側車両はブレーキを踏むことなく接触したと思われる、接触後は、接触場所から3メートル程おされた状態で、道路に並行状態で停車する、事故に遭遇した3名は救急車で搬送となる。	32	30～ 49
9	17～ 18	約2km手前で、社用車で西向きに運転している時、雨が降っていて、ガードレールに左、右とぶつかった、車は大破したが、幸いなことに単独事故で、本人も軽傷だった。	31	1～9
9	19～ 20	仕事の見積もりの為、車で向かう途中、スピードを落とし左へ曲がろうとした時、スリップして（雨が降っていた）分離帯にぶつかった。	35	1～9
		運転回送業務中にて、普通乗用自動車に同乗し信号停止していたところ、酒気帯		

9	4～5	び状態で運転する加害者の軽四乗用自動車と衝突（追突）し衝撃により被災労働者が負傷を負った。	26	1～9
10	17～18	営業からの帰りに渋滞中で停車していたところ、後ろから衝突され、首や背中など捻挫した。	65	10～29
10	9～10	宣伝カーの上にのぼり旗を取り付けた後、中の階段を前向きに下りようとした時足を滑らせて車の内部に落下（2m）した。落ちる時に開口部の鋭い部分に右手をかけた為、親指以外の指4本に深くくい込み負傷した。	58	30～49
10	16～17	海辺の建物の玄関付近においてマイクロバスを駐車し、運転席から降りようとしてドアを開けたところ、風速30m程の突風が吹き、ドアが外側に大きく開いたため、押さえようとしたがドアとともに引っ張られて右腕を負傷した。	66	1000～9999
10	18～19	【事故発生状況】出張のための宿泊先ホテル付近の横断歩道内（歩行者信号：青）にて、歩道内に入線しようとした右折車により衝突された。事故車の不注意によるものと思われる。事故後、警察による事故の実況見分が行われた。【本人の状況】意識はかなりしっかりとしている状態であるが、骨盤の骨折と頭部打撃傷があり詳細は検査中とのことである。	59	1000～9999
10	13～14	公園前路上にて自販機作業を終え、車輛前方で右ミラーをたたみ身体を移動させようとした瞬間、相手RV車が寄ってきて左前輪タイヤに足（左足）を巻き込み、そのまま走り去った。	42	30～49
10	0～1	当方のバイクが直進しようと交差点に差し掛かった際、相手方自転車が赤信号を無視して交差点を対角に渡ろうと左側の歩道から飛び出してきたため、当方バイクと接触した。接触した弾みで当方のバイク運転手が右側に転倒し、左足くるぶしを負傷した。	61	30～49
10	16～17	イベント会場設営業務のため、社用車で会場へ出張移動中、5.1キロポスト付近を走行していた。濡れた路面で後輪が滑り、壁面やガードレールに複数回衝突し、車内で首・腰・背中を強打したことにより頸椎捻挫、腰部打撲傷、背部打撲傷を負った。	32	100～299
10	14～	退居後の室内点検へ向かうため、バイクで走行中、路面電車の線路をまたぐ際、	52	1～9

	15	タイヤがスリップして転倒し、負傷した。		
10	22～ 23	営業活動終了後、事務所に戻るために高速道路を社有車の助手席に同乗していた。当時激しい雨が降っており、その雨によりタイヤがスリップし、ハンドルとブレーキが利かなくなり、左右に激しく回転し中央分離帯に衝突・停車した。その際に車内で左腕を強打し骨折した。	29	10～ 29
11	14～ 15	出かけるために車を暖機しようとマニュアル車（軽自動車）のクラッチに左足を乗せて（身体と右足は車外）鍵を回したところ、ギアがローに入っていたため車が発進し、左足が引っ張られ足首を受傷した。	24	100 ～ 299
11	1～2	運転代行業務中、送り先の客宅から次の代行依頼のあった店へ向かう為軽自動車に同乗し走行中、進行方向右側の市道から一時停止を無視して県道との交差点に進入して来た相手車輦に、右側面から激突された上、その勢いで県道右側のコンクリート製の柵に突っ込んでしまい重傷を負ったものである。	41	10～ 29
11	17～ 18	路上で、顧問先から会社に戻る途中、信号機のない交差点で、左から走行して来た車に当たる。車両右に当たり、5メートル飛ばされる。	47	1～9
11	14～ 15	滞納整理を終え現場より帰社中、よそ見をしながら運転したことにより側溝に落ちる。	39	1～9
11	8～9	検針233枚を持参し自宅を単車で出発した。検針へ向かう変則交差点において、センター寄りにバイクを移動させ、交差点に進入する前にカーブミラーで進入車両の有無を確認、目視を行った。右側を目視確認しようとした際、右から来た相手方車両バンパー左部分と単車前部フェンダーが衝突した。右側に転倒し、受傷した。相手方が警察・救急車を手配し、医療機関へ搬送された。	50	100 ～ 299
12	12～13	車で次の打ち合せ先に移動の途中、信号機の無い交差点にさしかかり、優先道路であったため直進していたところ、右側から一時停止せず相手の車が進入してきたため、避けきれず衝突し受傷した。	41	10～ 29
12	19～20	高速にて追い越しの際、追い越し車線に自損事故を起こして間もない車が横転していて、ライト等すべて消えていた為、確認が遅れて左側面を接触し、横転した。	56	1～9

12	11~12	助手席に同乗し、取引先へ向かう途中、交差点を青信号で直進中、対向右折車と衝突した。	48	10~ 29
12	11~12	交差点で対向右折車と車両同士の事故である。	52	10~ 29
12	8~9	取引先へ使用する材料を取りに行く途中、誤って運転ミスをおかし、電柱に激突し、体を強く打ちつけ負傷した。	64	1~9
12	0~1	当方バイクで道路走行中、前方を走っていた相手車が速度を緩めたため、左側に停車すると思い右側から追い越しに入ったところ、相手ライトバンが停車でなく急に右に転回して来たため、当方バイクと相手右側前タイヤ付近に接触し、転倒したものである。	42	50~ 99
12	10~11	貴重品搬送業務のため、現金輸送車に警乗中、渋滞により停止していたところ、後方から走行して来た車両に追突され負傷した。	59	100 ~ 299
12	15~16	取引先に車で向かう途中、交差点で赤信号で停車していたところ、後方から来たタクシーに追突された。追突の衝撃で頸部を捻挫した。	35	10~ 29
12	12~13	事故現場（交差点）の約100m手前で、走行車線・追越車線ともに渋滞していた。右前方の車両の進入を予測し、減速したが、右折のため進入してきた相手車が、大回りして走行車線側に二車線道路を横断するように進入してきた。急ブレーキで避けきれず、相手車の左前方フェンダーと当車前輪が接触し、左側へ転倒し、相手車は当車の前輪を踏み越えて停車した。	52	100 ~ 299
12	10~11	客宅を訪問するため、バイク（50cc）で走行中、交差点で青信号を確認して進入したところ、左側より相手車が赤信号で交差点に進入し、当社バイクの左側（座席下部）と相手車両の前方運転席側のバンパーが接触した。	45	30~ 49

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html